

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2295400077		
法人名	あかり株式会社		
事業所名	グループホームあかり 東ユニット		
所在地	静岡県島田市宮川町2349-6		
自己評価作成日	令和2年11月16日	評価結果市町村受理日	令和3年2月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2295400077-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kajigokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2295400077-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和2年11月30日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

晩年の住いとして、その人らしく自然で快適に生活できる環境づくりを目指しています。平家づくりの解放的な住環境は拘束感が無いことで好評です。又、職員は、「ひとりひとりがあかりになる」という理念のもとに、利用者との温かみのあるケアに努めています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

島田市から緊急時避難先指定を受けるとともに、AEDの設置では「広く地域の役に立つように」と道路側に案内板をつけるほか、法人では車いす車輛を無償で貸し出す事業に取り掛かっており、ボランティアの育成を含み島田市社会福祉協議会との話し合いを重ねています。目の前の歯科医院は口腔ケアだけでなく運営推進会議にも出席があり、ボランティアチームが毎月1度、居場所づくり「ゆったりカフェ」を運営くださるなど、地域の皆さんの協力を得つつ共に在ることが叶っています。また「子どもを産んでも戻ってきて欲しい」として働き方改革を草案するとともに支援学校からの採用も続け、社会貢献にひたむきです。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入社時、及び毎月の研修時に文書や口頭で確認、共有している。採用時に理念を見て入職された職員もあり、理念を意識できている。	理念は長文ですが、事業所名の想いである「遠くの光をみつめるより、足元を明るくする小さなあかりでも大勢が集まれば 大きなあかりになる」という意味は、入職時に始まり代表者が繰り返し話し伝えて浸透しています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に所属し、会費納入、回覧板や年2回の防災訓練、イベントへの参加を行っている。掲示板にて施設のイベントのお知らせを行っている。	代表者も隣組の一員で顔なじみであり、回覧板も廻ってきていて、防災では何かあれば「事業所の井戸水を」、町内会でも「発電機をいつでも使って」と協力関係ができています。また法人主催の「ゆったりカフェ」にもボランティアとして地域の応援を得ています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症、介護の相談、説明口座の依頼には積極的に応じている。認知症カフェの場所を提供し、地域の方の参加がある。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年2月以降は、休止している。実施した時は、ご家族、行政、自治会、医師の意見や提案を頂き、参考にしている。	運営推進会議は、これまで偶数月の隔月開催を続けてきましたが、4月から参会による開催を取りやめています。1回毎に島田市長寿介護課に確認をとり、許可を得て中止であることをメンバーに書面にて連絡しています。	条例下の制度のため、人が集まらない場合は書面開催として、2ヶ月分の活動記録をまとめたくて、メンバーに届けて意見を集めることを期待します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市や包括の担当者とは、運営推進会議の時の情報交換、日頃の相談等で密な連絡を行っている。介護相談員の訪問も受け入れ、後日その結果の報告を受けている。	島田市から緊急時避難先指定を受けるほか、AEDの設置では「広く地域の役に立つように」と、道路側に案内板をつけています。また、地域密着型の役割の一つとして「しまだ市つ歌りげんき体操」をレクリエーションの時間に実施しています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的に拘束ゼロを実践している。2ヶ月に1回拘束委員会を開いて確認をしている。事故、ヒヤリ報告からも話し合っている。	3ヶ月に1度でよいこととなっている拘束適正化委員会ですが、当事業所では2ヶ月毎に開催しており、こまめに取組んでいます。代表者が「働きやすさ」に注視していて、職員も「ここはいい」としていることが利用者への適切な関わりにつながっています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部、外部の研修で話し合い、周知の徹底を図っている。職員同士の連携で虐待を見逃すことが無いよう努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部での研修にて理解を深めている。また、実際に「成年後継人制度」を利用されている方もあるため、常に後見人への報告を折々に行い、本人の希望や状態を伝えている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時にわかりやすい言葉を使用して説明を行い、署名を頂いている。家族カンファ時にも、不明点などを聞き、都度説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議を全員のご家族にお知らせし、ご意見を伺うようにしている。介護計画の見直しや更新の折に来所して頂き、必要な事項を伝え、意見を聞いている。	ホームページのブログには写真や動画とともにコメントも入っていて、活動の様子が確認できます。便りを毎月発行するのは難しく、それでも何とかしなくてはとの気持ちが「半年間の様子をアルバムにまとめよう」との起案に実っています。	ブログを確認することで家族は安心できますが、電子機器の扱いが得意な人ばかりでないため、書面での便りは月1度程度の定期発行となることを期待します。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・代表者会議(管理者・ユニットリーダー) ・ユニット会議 ・個別面談 ・スタッフ懇親会 等活用 上記他、個人的に意見を聞いている。	賞与のことも含んだ個人面談が年2回ありますが、代表者が日々フロアを往来、管理者も現場に入り、利用者も事務所に遊びに立ち寄りというオープンな状況にあり、職員意見にも速やかな検討、対応ができています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	税理士、労務士の関与による助言等により適切な内部規定を作成し周知するように図っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修や事業所で勤める研修に参加してもらっている。定期的な面談や個別の相談に柔軟に応じ、希望に添うように努めている。新人研修(OJT, OFFJT)資格取得のための研修への参加を奨励し、援助している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の施設との交流で、制度や研修、ケアについての情報交換に努めている。地域密着型サービスグループの懇親会を行っている。他施設から研修講師を招いて内部研修を行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境に早く慣れて頂く為に、ケアプランの目標に沿ったケアを個別に丁寧に行い、スタッフや利用者との関係に努めている。 一日も早くなじみの関係となれるように、職員一同声掛けを行っている。 ご家族との密な連絡で本人の意向を知るよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との面談を丁寧に行い、満足いく聞き取りを心掛けている。 ご家族の面会希望があればコロナ感染リスクを考慮しながら可能な限り受け入れる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	在宅のケアマネと連絡をとり、入居前に情報を得るようにしている。(事前面談) 本人、家族との面談で丁寧に聞き取り、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活者としての視点で、食事作りや洗濯量等を一緒に行うことで、共同生活の一員として過ごしてもらえるように工夫している。 施設内のみではなく、買い物や散歩などできるだけ生活圏を広げるように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人様と家族様の関係性を理解しながら、体調不良時や受診時に、家族様と連絡を密に取りあっている。受診時、家族が介助困難等の場合は、職員んが付き添うなどの援助をしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所されても以前の友人や近所の方の面会に来て下さる方を拒まず受け入れている。 (家族様許可を事前あり) 自宅の近所の老人会などにも参加している。 DSとの利用者との活動もあり、同じ町内だった方との交流をしている。	検温、消毒、マスクなどの条件を備え、面談室での面会を続けることができるよう配しています。以前には終日滞在の人や兄弟姉妹が集まる機会とするケースもあったものの、「感染源になったら…」との心配から自粛しているのか、家族面会は減っています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士のコミュニケーションのために、レクリエーションや生活の作業を職員も一緒に行っている。 仲の良い利用者同士が近くにいるような配席、一緒に外出の計画などを行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や転居先への情報提供を行い支援している。 亡くなった方の家族にもイベントの参加への呼びかけを行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ユニット会議などを活用し本人の一言一言を傾聴し実現化している。 個別のケアとしてひとりづつの計画、実行している。利用者様本人が自らの思いを訴えに事務所に来て相談や雑談をさせる事が多い。	アセスメントシートからの関係づくりと、日勤帯を固定としてリーダーがいるようにシフトを組むとの担保を以て「場の雰囲気安定」を図っています。希望者には就寝前に足湯を施すといった例からも利用者との丁寧に向き合っていることが観えます。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	出来るだけ細やかな聞き取りでアセスメントを行う事で把握に努めている。 家族、知人の面会時には、聞き取りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方、心身状態の把握は目標に沿って行っている。 有する力の維持と改善についてカンファレンス等で把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員一人一人から利用者様のケアの課題点を各ユニットリーダーより通じて集約し、ユニット会議内のカンファレンスにて確認を行う。モニタリングに沿って介護計画書を作成し、内容を共有している。	毎月カンファレンスをおこない、アセスメントシートには変化を赤字で記載して経過把握できるようにして、節目や好機を見逃さないようにしています。また現在は代表者がピンチヒッター的に介護支援専門員となっておりますが、来春には新任者が入る予定です。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の申し送り、カンファレンスの実施で職員間の情報共有を深めている。 業務ノートなどの活用もしている。 現場からの報告を密に行い計画の見直しにつなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出、工作、行事、編み物、習字、デイサービスへの訪問等、工夫している。 看取りケアに於いて、ご家族の協力、シフト職員以外のメンバーの協力で、夜間に泊まり込むなど本人に可能な限り寄り添うケアを行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア(音楽、マジック、ドッグセラピー、体操、傾聴等)の柔軟な受け入れで、潤いのある生活を目指している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	看護師2名非常勤で配属している。島田市の医療機関との関係も連絡票を用いて連携を図っている。基本は家族様が受診だが、事情によって受診の代行は行っている。	看取りには医師の往診も必要なことから、状況によっては変更となることもありますが、現状は在宅の頃からのかかりつけ医を継続している人ばかりで、島田市の医師会統一の連絡票で情報共有を確かなものとしています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	平日9:00～13:00まで看護師に医療的処置の指導を得られる体制を作っている。医療機関との関係も連絡票を用いて連携を図っている。記録内にも、看護記録の記載をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時情報提供票を用いて、病院のMSWを通じて支援できるようにしている。受診時には連絡票を用いて連絡を取っている。病院主催の研修などに積極的に参加している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	連絡票や主治医との面談を行い方針を確認し、家族、施設、医療が協力して行っている。今年度も2名の方の看取りを行っている。「一人にしない、させない」を基本にし、皆で泊まり込みを行った。	24時間オンコールの看護師2名(非常勤)は、看取りのときは夜でも駆けつける態勢にあり、代表者が泊まり込んだり、管理者も夜勤者のフォローに余念なく、チームで看取り体制を整備しています。また嫁や若い孫の協力でお見送りが充実した例もあります。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	感染・防災委員が主となり、応急手当マニュアルを作り定期的に訓練をし、いつでも対応できるようにしている。内部研修で急変、事故発生時の対応を学んでいる。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	3ヶ月に1度の避難訓練を行っている。地域の避難訓練にも参加している。	3月と9月実施の計画を消防署に毎年提出していますが、3月の訓練はコロナ禍で断念しています。9月はAEDの使い方を確認したり、水消火器を全員が体験するまでしばし借りたままにさせてもらって、十分習熟を果たしています。	次の2点を期待します。①年2回の実施は運営上定められた事柄であるため、机上訓練や非常時伝言ダイヤル訓練などの代替を以て実施する ②新採者には非難経路と通報装置の案内をオリエンテーション時におこなう

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方の生活履歴を把握し、適切な言葉かけを行っている。(方言を含む) その方のNGワードなど模索して、日々を穏やかに過ごせるように努めている。	「～をするからお部屋に入らせてもらいますね」と声をかけることは職員に浸透しており、介助中にその場を離れることはないよう応援者(代替者)を呼ぶ、「～さん」で統一といった基本を遵守しており、職員は穏やかな雰囲気をつたえています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	必ず本人様の希望、または、選択ができる様に聞いてから実施している。 本人からの希望も、職員に伝わりやすい様にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に寄り添う人として、その方に合わせている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	生活場面に合わせて、一緒に服選びを行っている。 起床時の整容、都度身だしなみを整えている。 家族の了解を得て、洋品店へ買い物に出かけたりする。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材などを見せ、どのような味付けをしていたか話をしたり、食べたいものを聞いたりして、メニューを決めている。料理に関わるのが好きな方もおり、野菜の皮むき、煮物の味付け、配膳などをお願いしている。	昼夕の食材は業者搬入しています。届く献立表を元にアレンジして提供、朝食分は周辺のスーパーマーケットで買い足しています。行事食や誕生日会では食べたいものを聞き、またおやつもどら焼きやフルーツポンチなどの手作りに努めています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重増加びある方には量を減らしたり、空腹の訴えをする方には、少量を多めにした個々の状態に合わせて提供している。水分摂取では活動後には提供をし本人の好まれるものを提供している。 職員と一緒に水分摂取を行うことで、水分量が以前よりとれている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後には必ず口腔ケアを行い、行えない方には仕上げ磨きチェックを行っている。 年に一度、歯科検診を歯科医の協力を得て施設にて行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、時間を見ながらトイレ誘導を行っている。(成功例に基づき調整) 日々の生活を笑って過ごしていくためにも、パット使用も有りとし、その方の介助に努めている。	独歩でトイレに行く人は8名いて、比較的自立度を維持していますが、やはり半数は後の確認(流してない、汚している等)が必要です。1名、立位が保てず2人介助ですが、本人も手すりを掴んで協力してくれており、「できるだけトイレで」を励行しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食時には、ヨーグルトなどを提供し、食物繊維のメニューを取り入れている。 毎日30分の体操を行っている(呼吸法等) 水分摂取を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個々の状態や要望に合わせて、声かけをし入浴、シャワー浴を行っている。 就寝前にはスムーズな睡眠が促せるよう、足浴を実施。 基本は週2回だが、要望のある方は週3以上の入浴をしている。	汗をかきやすい人や臭いがやすい人、また希望者には週2回を3回へと増やしています。何時に入るか時間を知りたい人、一番風呂を飲む人、ぬるい湯が好きなお人と個々に対応しており、湯船に寝そべったり、歌をうたってゆっくり過ごす姿があります。	浴剤は種類を増やして選択の機会となるよう、工夫を期待します。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食後は休息の時間を設けている。 活動後に疲れた様子がある時は休息して頂いている。 個々に応じた時間に就寝して頂いている。 今までの生活履歴から、かい巻を使用している方もいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	下剤は便の状態により調整している。 薬の処方内容をまとめたファイルを個別に作っている。 薬の間違えがないように、内服時間別に仕切りを使用して薬箱の保管をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の出来る事、得意な事等を役割りとして、毎日行ってもらっている。 ごみ箱つくり、新聞畳、雑巾縫い、窓閉め等々。 お酒の提供もしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節や体調に応じて、ドライブなどしている。 家族が本人の希望を把握して外出することもしている。 今年は、花火、イルミネーションなど夜間のドライブも実施した。	初詣、えびす講、おひぎりさん(ひぎり地藏)、花見、紅葉狩り、なぶら市場、アピ、回転寿司と年々行く先を開拓してきましたが、現在は「降りないドライブ」を考案するとともに、散歩、外気浴に力を入れています。	



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出した際は、個別のお金を持って好きなものを購入したり、自分で支払いをしていただいている。 自分で持っていたい方については、トラブルにならない程度に自己管理して頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	届いた手紙は本人に渡し、読めない場合はこちらで読むこともある。 宛名書きの代筆をするなど、手紙を出す機会を提供している。 電話も事務所に来られ自らが電話をしている。 職員からの手紙に、返事を書く様子もある。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室、フロア、浴室、トイレ等の環境整備を行って、清潔で明るい空間で過ごして頂くように心がけている。 季節がわかるよう、季節の壁画作りや季節の花を飾ったりしている。	玄関からのアプローチは美術館の品格と家庭の温かみを程よく調和させていて、外出できない現状に対して気分転換に最適です。 換気は朝、昼、晩のほか夜間、深夜もおこなない、また消毒も回数とボトルの設置個所を増やし、オゾン水の噴霧も実施しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	館内のサービスを訪問したり、施設全体を自分の場所として自由に行き来している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使用していたタンスや椅子、家族の写真を置いたりして、なじみの物に囲まれ安心して過ごして頂いている。 表札は自らの手描きをして、飾り付けをしている。	ターミナルの段階で入居、その後5年いた人は何度も看取り手前となりましたが、食事は必ずフロアでするとともに居室ドアを開けておくことで、馴染みの関係が途切れないようにした例もあり、ケースバイケースで居室の在り方を検討しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や壁面に手摺を設けたり、トイレ使用时には足台を用意し、各自に合った高さの調整を図り、自立につなげるよう図っている。		

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	2295400077		
法人名	あかり株式会社		
事業所名	グループホームあかり 西ユニット		
所在地	静岡県島田市宮川町2349-6		
自己評価作成日	令和2年11月16日	評価結果市町村受理日	令和3年2月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kajgokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2295400077-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kajgokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;jiyosyoCd=2295400077-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和2年11月30日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

晩年の住いとして、その人らしく自然で快適に生活できる環境づくりを目指しています。平家づくりの解放的な住環境は拘束感が無いことで好評です。又、職員は、「ひとりひとりがあかりになる」という理念のもとに、利用者との温かみのあるケアに努めています。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

島田市から緊急時避難先指定を受けるとともに、AEDの設置では「広く地域の役に立つように」と道路側に案内板をつけるほか、法人では車いす車輛を無償で貸し出す事業に取り掛かっており、ボランティアの育成を含み島田市社会福祉協議会との話し合いを重ねています。目の前の歯科医院は口腔ケアだけでなく運営推進会議にも出席があり、ボランティアチームが毎月1度、居場所づくり「ゆったりカフェ」を運営くださるなど、地域の皆さんの協力を得つつ共に在ることが叶っています。また「子どもを産んでも戻ってきて欲しい」として働き方改革を草案するとともに支援学校からの採用も続け、社会貢献にひたむきです。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	入社時、及び毎月の研修時に文書や口頭で確認、共有している。採用時に理念を見て入職された職員もあり、理念を意識できている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に所属し、会費納入、回覧板や年2回の防災訓練、イベントへの参加を行っている。掲示板にて施設のイベントのお知らせを行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症、介護の相談、説明口座の依頼には積極的に応じている。認知症カフェの場所を提供し、地域の方の参加がある。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年2月以降は、休止している。実施した時は、ご家族、行政、自治会、医師の意見や提案を頂き、参考にしている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市や包括の担当者とは、運営推進会議の時の情報交換、日頃の相談等で密な連絡を行っている。介護相談員の訪問も受け入れ、後日その結果の報告を受けている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	基本的に拘束ゼロを実践している。2ヶ月に1回拘束委員会を開いて確認をしている。事故、ヒヤリ報告からも話し合っている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部、外部の研修で話し合い、周知の徹底を図っている。職員同士の連携で虐待を見逃すことが無いよう努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部での研修にて理解を深めている。 また、実際に「成年後継人制度」を利用されている方もあるため、常に後見人への報告を折々に行い、本人の希望や状態を伝えている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時にわかりやすい言葉を使用して説明を行い、署名を頂いている。 家族カンファ時にも、不明点などを聞き、都度説明を行っている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議を全員のご家族にお知らせし、ご意見を伺うようにしている。 介護計画の見直しや更新の折に来所して頂き、必要な事項を伝え、意見を聞いている。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・代表者会議(管理者・ユニットリーダー) ・ユニット会議 ・個別面談 ・スタッフ懇親会 等活用 上記他、個人的に意見を聞いている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	税理士、労務士の関与による助言等により適切な内部規定を作成し周知するように図っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部研修や事業所で勤める研修に参加してもらっている。 定期的な面談や個別の相談に柔軟に応じ、希望に添うように努めている。 新人研修(OJT, OFFJT)資格取得のための研修への参加を奨励し、援助している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣の施設との交流で、制度や研修、ケアについての情報交換に努めている。 地域密着型サービスグループの懇親会を行っている。 他施設から研修講師を招いて内部研修を行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境に早く慣れて頂く為に、ケアプランの目標に沿ったケアを個別に丁寧に行い、スタッフや利用者との関係に努めている。 一日も早くなじみの関係となれるように、職員一同声掛けを行っている。 ご家族との密な連絡で本人の意向を知るよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との面談を丁寧に行い、満足いく聞き取りを心掛けている。 ご家族の面会希望があればコロナ感染リスクを考慮しながら可能な限り受け入れる。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	在宅のケアマネと連絡をとり、入居前に情報を得るようにしている。(事前面談) 本人、家族との面談で丁寧に聞き取り、対応している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活者としての視点で、食事作りや洗濯量等を一緒に行うことで、共同生活の一員として過ごしてもらえるように工夫している。 施設内のみではなく、買い物や散歩などできるだけ生活圏を広げるように努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人様と家族様の関係性を理解しながら、体調不良時や受診時に、家族様と連絡を密に取りあっている。受診時、家族が介助困難等の場合は、職員んが付き添うなどの援助をしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所されても以前の友人や近所の方の面会に来て下さる方を拒まず受け入れている。 (家族様許可を事前あり) 自宅の近所の老人会などにも参加している。 DSとの利用者との活動もあり、同じ町内だった方との交流をしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士のコミュニケーションのために、レクリエーションや生活の作業を職員も一緒に行っている。 仲の良い利用者同士が近くにいるような配席、一緒に外出の計画などを行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や転居先への情報提供を行い支援している。 亡くなった方の家族にもイベントの参加への呼びかけを行っている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ユニット会議などを活用し本人の一言一言を傾聴し実現化している。 個別のケアとしてひとりずつの計画、実行している。利用者様本人が自らの思いを訴えに事務所に来て相談や雑談をさせる事が多い。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	出来るだけ細やかな聞き取りでアセスメントを行う事で把握に努めている。 家族、知人の面会時には、聞き取りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一日の過ごし方、心身状態の把握は目標に沿って行っている。 有する力の維持と改善についてカンファレンス等で把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員一人一人から利用者様のケアの課題点を各ユニットリーダーより通じて集約し、ユニット会議内のカンファレンスにて確認を行う。モニタリングに沿って介護計画書を作成し、内容を共有している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常の申し送り、カンファレンスの実施で職員間の情報共有を深めている。 業務ノートなどの活用もしている。 現場からの報告を密に行い計画の見直しにつなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	外出、工作、行事、編み物、習字、デイサービスへの訪問等、工夫している。 看取りケアに於いて、ご家族の協力、シフト職員以外のメンバーの協力で、夜間に泊まり込むなど本人に可能な限り寄り添うケアを行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティア(音楽、マジック、ドッグセラピー、体操、傾聴等)の柔軟な受け入れで、潤いのある生活を目指している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	看護師2名非常勤で配属している。島田市の医療機関との関係も連絡票を用いて連携を図っている。基本は家族様が受診だが、事情によって受診の代行は行っている。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	平日9:00～13:00まで看護師に医療的処置の指導を得られる体制を作っている。医療機関との関係も連絡票を用いて連携を図っている。記録内にも、看護記録の記載をしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時情報提供票を用いて、病院のMSWを通じて支援できるようにしている。受診時には連絡票を用いて連絡を取っている。病院主催の研修などに積極的に参加している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	連絡票や主治医との面談を行い方針を確認し、家族、施設、医療が協力して行っている。今年度も2名の方の看取りを行っている。「一人にしない、させない」を基本にし、皆で泊まり込みを行った。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	感染・防災委員が主となり、応急手当マニュアルを作り定期的に訓練をし、いつでも対応できるようにしている。内部研修で急変、事故発生時の対応を学んでいる。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	3ヶ月に1度の避難訓練を行っている。地域の避難訓練にも参加している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方の生活履歴を把握し、適切な言葉かけを行っている。(方言を含む) その方のNGワードなど模索して、日々を穏やかに過ごせるように努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	必ず本人様の希望、または、選択ができる様に聞いてから実施している。 本人からの希望も、職員に伝わりやすい様にしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	常に寄り添う人として、その方に合わせている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	生活場面に合わせて、一緒に服選びを行っている。 起床時の整容、都度身だしなみを整えている。 家族の了解を得て、洋品店へ買い物に出かけたりする。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材などを見せ、どのような味付けをしていたか話をしたり、食べたいものを聞いたりして、メニューを決めている。料理に関わるのが好きな方もおり、野菜の皮むき、煮物の味付け、配膳などをお願いしている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重増加びある方には量を減らしたり、空腹の訴えをする方には、少し量を多めにした個々の状態に合わせて提供している。水分摂取では活動後には提供をし本人の好まれるものを提供している。 職員と一緒に水分摂取を行うことで、水分量が以前よりとれている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後には必ず口腔ケアを行い、行えない方には仕上げ磨きチェックを行っている。 年に一度、歯科検診を歯科医の協力を得て施設にて行っている。		



自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、時間を見ながらトイレ誘導を行っている。(成功例に基づき調整) 日々の生活を笑って過ごしていくためにも、パット使用も有りとし、その方の介助に努めている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食時には、ヨーグルトなどを提供し、食物繊維のメニューを取り入れている。 毎日30分の体操を行っている(呼吸法等) 水分摂取を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々の状態や要望に合わせて、声かけをし入浴、シャワー浴を行っている。 就寝前にはスムーズな睡眠が促せるよう、足浴を実施。 基本は週2回だが、要望のある方は週3以上の入浴をしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食後は休息の時間を設けている。 活動後に疲れた様子がある時は休息して頂いている。 個々に応じた時間に就寝して頂いている。 今までの生活履歴から、かい巻を使用している方もいる。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	下剤は便の状態により調整している。 薬の処方内容をまとめたファイルを個別に作っている。 薬の間違えがないように、内服時間別に仕切りを使用して薬箱の保管をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その方の出来る事、得意な事等を役割りとして、毎日行ってもらっている。 ごみ箱づくり、新聞畳、雑巾縫い、窓閉め等々。 お酒の提供もしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節や体調に応じて、ドライブなどしている。 家族が本人の希望を把握して外出することもしている。 今年は、花火、イルミネーションなど夜間のドライブも実施した。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出した際は、個別のお金を持って好きなものを購入したり、自分で支払いをしていただいている。 自分で持っていたい方については、トラブルにならない程度に自己管理して頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	届いた手紙は本人に渡し、読めない場合はこちらで読むこともある。 宛名書きの代筆をするなど、手紙を出す機会を提供している。 電話も事務所に来られ自らが電話をしている。 職員からの手紙に、返事を書く様子もある。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室、フロア、浴室、トイレ等の環境整備を行って、清潔で明るい空間で過ごして頂くように心がけている。 季節がわかるよう、季節の壁画作りや季節の花を飾ったりしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	館内のディサーブスを訪問したり、施設全体を自分の場所として自由に行き来している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使用していたタンスや椅子、家族の写真を置いたりして、なじみの物に囲まれ安心して過ごして頂いている。 表札は自らの手描きをして、飾り付けをしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や壁面に手摺を設けたり、トイレ使用时には足台を用意し、各自に合った高さの調整を図り、自立につなげるよう図っている。		